

平成 29 年度 施策評価表

□

施策	0802	社会保障制度の安定的運営	施策推進担当部	福祉保健部
施策の方針	国民健康保険や介護保険については、制度の重要性を市民へ啓発するとともに、医療費や介護給付の適正化に取り組み、制度の安定的な運営に努める。			

【DO（実施）】

基本計画における目標値

指標名	単位	基準値 (H26)	H28目標値	H29目標値	H30目標値	H31目標値	H32目標値	H28年度	
			H28実績値	H29実績値	H30実績値	H31実績値	H32実績値	達成率	進捗率
① 国民健康保険税（現年度分）の収納率	%	92.45	94.64 94.41	95.66	94.64	94.64	94.64	99.8%	99.8%
② 介護保険料（現年度分）の収納率	%	98.39	98.39 98.59	98.39	98.39	98.39	98.39	100.2%	100.2%
③									
④									
⑤									

施策達成状況の説明

- ①きめ細やかな納税指導と適正な滞納処分により、収納率は上昇したが、目標値は達成できなかった。
- ②平成26年7月からコンビニ収納を実施するなど保険料を納付しやすい環境を整備し、目標値を達成した。

施策経費

(単位:千円)		H28年度 決算	H29年度 予算	H30年度 見込	特記事項
内訳	事業費	12,990,727	13,673,774	13,087,466	
	国庫支出金	3,387,732	3,436,780	1,507,780	
	県支出金	1,243,251	1,266,171	7,641,938	
	地方債	0	0	0	
	その他	4,312,039	4,451,212	1,672,646	
	一般財源	4,047,705	4,519,611	2,265,102	
	人件費	112,236	115,852	-	
フルコスト	13,102,963	13,789,626	-		

施策の概要

080201	国民健康保険の安定的運営	増大する医療費の適正化を図るため、重複・多受診者への訪問指導や生活習慣病予防のための特定保健指導等を実施し、健康管理に対する意識を浸透させるとともに、ジェネリック医薬品の使用をより一層促します。 また、保険税の確保に向けた取組として、納税に対する理解促進や意識啓発、ファイナンシャルプランナーを活用した生活改善型納税相談を行います。 なお、平成30年度からは、県が財政運営の責任主体となり、国民健康保険の運営について中心的な役割を担います。
080202	介護保険の安定的運営	介護給付の適正化を図るため、定期的に介護事業所を訪問し、ケアプランの点検及び高齢者の実態把握を行います。 また、サービス利用に関する高齢者の疑問点を把握し、適正なサービス利用に向けた相談や助言を行うために、介護相談員の派遣を推進します。

【CHECK (評価)】

<p>施策を達成する上での問題点・課題</p>	<p>国保税については、これまでの滞納処分により、滞納額は年々圧縮されてきたが、困難な案件が残っている状況である。さらに財産把握と実態調査を徹底し、差押や執行停止処分を積極的に進め、滞納額の圧縮を図る必要がある。また、キャッシュカードを使った口座振替受付サービスの導入により、納税者の利便性を向上させ、口座振替率の増加を図らなければならない。</p> <p>介護保険料については、平成25年度以前はほとんど実績がなかった強制徴収を積極的に執行しているものの、収納率の向上に反映されにくい現状にあるため、より滞納処分を強化する必要がある。</p>
-------------------------	--

【ACTION (改善・改革)】

<p>問題点・課題を踏まえた施策構成事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方</p>	<p>国保税の滞納繰越分については、引き続ききめ細やかな納税指導と適正な滞納処分を行いながら、滞納額の圧縮に努める。</p> <p>また、平成29年11月からは、キャッシュカードを使った口座振替受付サービス導入し、低迷している口座振替率の向上を図り、納期内納付を推進することで収納率の向上を目指す。</p>
---	---

平成30年度新規事業

事業名 (仮称)	担当課	H30年度見込	対象・事業概要など
		事業費	
1			
2			
3			
4			
5			
		0	

【評価調整委員会意見】

1	施策推進担当部意見のとおり	
<<特記事項>>		

【最終評価 (都市経営戦略会議)】

1	評価調整委員会意見のとおり	
<<特記事項>>		